



教育センターだより

平成27年7月17日文責 中澤 敦子

木工教室…楽しいね！！



今を生きる子ども達は、正しく道具を扱ったり、身の回りの素材から構想して作り上げたりしていく機会がとても少なくなっています。学校の図工美術の授業の中でもカリキュラムの中にはさみやカッターナイフ、彫刻刀に始まって、様々な生活に必要な道具を使った制作が組み込まれています。しかし、道具の種類や数不足、材料の調達、安全確保など授業作りにはたくさんの準備が必要となり、指導する先生方は大変苦労されています。

そこで、教育センターでは授業のお手伝いをすべく、町内各校3、4年生を対象に野鳥の森において、木工教室を行っています。野鳥の森公園園長の渡邊さん、元大石小学校校長先生の倉澤正徳先生にのこぎりの使い方や、釘の打ち方などの指導をしていただきながら、材料から何を作ろうか考えたり、作りたいと思うものの材料を選んだりして思い思いの作品に向かっていきます。

本年度はすでに、河口小、勝山小（5年生の林間学校）、大嵐小、そして大石小の子ども達が木工体験をしました。指導をしてくださる先生に自分のイメージを伝えたり、普段は気に留めることもない木切れや木の実など、たくさんストックされた自然素材を選んだりして楽しく制作していた子ども達です。でき上がった作品を誇らしげに友達と見せ合う姿を見て、次の物作りへの意欲もふくらんだこと間違いなし…がわかります。今後も木工教室は11月中旬まで予定されています。



ICT教育先進校視察

6月25日（木）、教育センター・学校教育課・町情報部会・校長会の代表で、ICT教育における山梨県の先進校である竜王小学校を訪問しました。奥山校長先生から竜王小のめざす教育について説明を受けた後、タブレットを利用しながら「ディベート」を展開していく国語の授業（6年1組・清水仁教諭）を参観しました。児童がタブレットに自分たちの意見を書き込み、それを教師が電子黒板で紹介したり分類したりします。児童が発表するとともに電子黒板上でも確認でき、より討論が深まっていきます。本町の教育も電子黒板やデジタル教科書の導入により大きく変わろうとしています。今後も情報提供や研修会を積極的に行っていきたいと思っています。

